

チャレンジする気持ちを表現
起業・創業シンポジウム

おおさき民泊セミナーが開催されました

市では、地域資源を生かした観光産業やコミュニティビジネスによって、まちににぎわいが創出され、地域経済が活性化するように、起業・創業の支援を行っています。

3月14日、「おおさき起業・創業シンポジウム」を開催し、市内で起業を目指す人や、起業を支援する地域の商工会・金融機関など、地域経済の活性化を考えるたくさんの方が集いました。

基調講演では、「一般社団法人はまのね」代表理事の亀山貴一さんを招き、東日本大震災後、壊滅的被害を受けた石巻市牡鹿半島で、持続可能な地域形成に取り組む実例を伺いました。

また、亀山さんと市内の起業家のトークセッションでは、起業から地域の信頼を得るまでの努力、起業の迷い・勇気・決断など、実体験を交えた本音トークに花が咲きました。



▲トークセッションでは、来場者からの起業に向けた質問も活発に出されました。

終盤には、起業家それぞれから「自分が目指すもの、表現したいことを見失わず、チャレンジしてみること」と、これからの起業家へエールをいただきました。

夢への挑戦や移住、Uターンなど、起業のきっかけはさまざまですが、失敗や苦労を越えて、仲間や地域とのつながり・魅力の再発見が、やりがいを導きます。地域資源や得意分野を生かした起業・創業に、大崎でチャレンジしてみませんか。

3月16日、おおさき観光・世界農業遺産プロモーション協議会の主催で、おおさき民泊セミナーが開催されました。

昨年6月に住宅宿泊事業法(民泊新法)が施行されたことを受け、市内の多様な地域資源を活用したツーリズムの推進や、さらなる交流人口の拡大をねらいとしたものです。

住宅宿泊事業法の制度を活用することで、個人や法人が所有する民家、マンションの部屋など、住宅の一部を一時的に有償で旅行者に貸し出すことができるようになります。

セミナーは、外部講師を招いて、初めての人にもわかりやすく説明されました。参加者からは「宿泊希望者との連絡調整はどのようにすればいいか」などの質問があり、取り組みに関心を示していました。

の様子でした。

現在、市に訪れる中高生の教育旅行では、年間約500軒の家庭に宿泊しています。

旅行者との交流を通じて、世界農業遺産「大崎耕土」の豊かな自然や文化の素晴らしさを伝えてみませんか。

住宅宿泊事業法の届出の相談は、一般社団法人みやぎ大崎観光公社(☎09620)までお問い合わせください。



▲農家民泊体験では、学生と一緒に料理を作ったり、農作業体験の楽しさを伝えます。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



三本木発

女子体育の道を開いた偉人を称え

3月17日、三本木地域館山公園で、「日本女子体育の母」二階堂トクヨ氏(同地域出身)を顕彰する看板の除幕式が行われました。この看板は、「二階堂トクヨ先生を顕彰する会」と「館山公園を復活させる会」の共同で設置したものです。



▲高さ5.4メートルの看板を設置

式典には、来賓に日本女子体育大学の石崎学長らを招き、約60人で看板設置を祝いました。

日本の女子体育教育の先駆者、二階堂先生の偉業を称え、意思を受け継いでいくことを確認しました。

また、同日には、「館山公園を復活させる会」が、公園整備事業の看板除幕式と市の木「桜」の植樹会を行いました。平成24年に発足した同会が、老木の伐採や桜の植樹など、地域の皆さんの協力と、市の花・木・鳥等普及事業補助金を活用し整備を行っています。今年度は、企業から寄贈された「ヤマザクラ」の苗木を含め50本を植樹しました。

岩出山発

また来てね四季島

JR東日本の豪華寝台列車「トランスポート四季島」の見送りを続けてきた池月保育所の園児たちに、感謝の気持ちを伝えようと、2月25日、四季島の車掌、トレインクルー(車内で接客などをするスタッフ)らが同保育所を訪れました。



この日も四季島の見送りに、園児たちは池月駅まで徒歩で移動。ホームから手を振ると、徐行運転をしながら、車掌さんが笑顔で手を振り返してくれました。

園内では、クルーから見送り用の旗としおりがプレゼントされ、園児たちは、おかえしに感謝の



歌声を披露し、交流を深めました。

◀「また来るね」と、園児たちに手旗をプレゼントする四季島のトレインクルー

田尻発

紙ヒコーキに笑顔を見せて

3月17日、田尻大貫地区公民館で「紙ヒコーキ大会」が行われ、田尻地域の小学生や親子連れが参加しました。

今回製作したのは、飛行距離や時間が異なる2種類。わずかな角度や折り方で飛び方が変わるため、大人も子どもも関係なく、夢中になって製作しました。

飛行距離と時間を計って競い、投げ方もこだわります。「長く飛んでいられるように工夫した」とそれぞれ、こだわり抜いたヒコーキを投げると、参加者全員に笑顔が咲いていました。

世代を超えて、無邪気にはしゃぐ時間も貴重なものです。



▲的に当たるかな?みんながじっと見守ります。

2019 3月の主な出来事

30日	26日	22日	14日	13日	12日	11日	9日	6日
●大崎市民病院岩出山分院リハビリテーション施設完成式典	●大崎こつつあん祭	●小型消防ポンプ付軽積載車および消防ポンプ自動車交付式	●総務省消防庁消防団協力事業所表示証伝達式・大崎市消防団協力事業所認定証交付式 ●おおさき起業・創業シンポジウム	●平成31年春の交通安全県民総ぐるみ運動に伴う交通安全推進会議	●大規模災害時における情報共有ネットワークに関する協定調印式	●第2回大崎市青年就農ミーティング	●池月保育所開所式	●第9回おおさき観光写真コンテスト表彰式

▶岩出山凍り豆腐などを食材に、第20回おおさき料理対決が開催されました。(10日)

